

バラの基本的な育て方

植付け時期 栽培環境 植付け方法 水遣り 肥料 病虫害対策 剪定・誘引

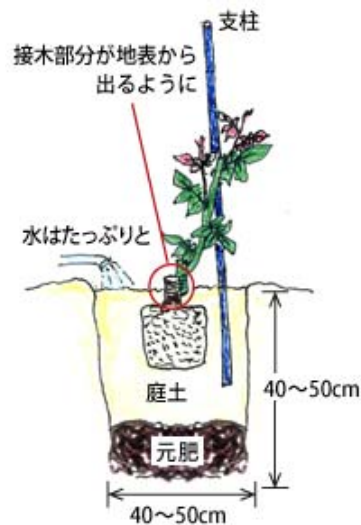
植付け方法

関東地方基準

新苗 地植え/鉢植え、大苗 地植え/鉢植えを紹介します

新苗地植え

関東地方基準



元肥：乾燥牛フン5L
 フラワーメーカー200~300g
 庭土

用意するもの

乾燥牛フン 5L

フラワーメーカー（バラ用肥料）200g～300g

1. 直径40～50cm、深さ40～50cmの穴を掘り、穴底に乾燥牛フン及び、フラワーメーカーを入れる。
2. 掘り上げた土を少し戻し、穴底の土を耕すように乾燥牛フン、フラワーメーカーと良く混ぜる。（元肥になります）
3. 残りの土を戻し、苗を置いた時に接木部分が地表から出る高さに調節する。
4. 苗をポットから出し、土(根土)を崩さないように設置する。
5. 庭土を戻し、苗を固定する。土は地表ぎりぎりまで戻さず、水がたまるスペースを残しておく。その後たっぷりと水をやる。
6. 水が引いたら、土を平らにする。
7. 接木部分がはがれないように支柱を立てる。

●ポイント

- 穴に入れる乾燥牛フンは、堆肥でも代用できます。バラ栽培に向く土を作るための大切な作業です。
- 台木や根鉢を持ち作業をしてください。枝を台木に接いだけかりではがれやすいので、枝を持って作業をしないでください。
- 接木部分に巻いてある保護テープは、秋まで取らないでください。

- ・ 8月末まで、蕾を小さなうちに摘むと早く株を育てられます。
- ・ 苗木が小さいので、特に病害虫に注意し、落葉のないよう注意してください。
(薬散など対策を行う)

新苗鉢植え

関東地方基準



用意するもの

鉢 (HT・FL=6～7号、ミニバラ=4～6号、つるバラ=10号以上)

用土 (バラの培養土 又は、水はけ水持ちの良い用土)

ゴロ土 (赤玉土の大粒など)

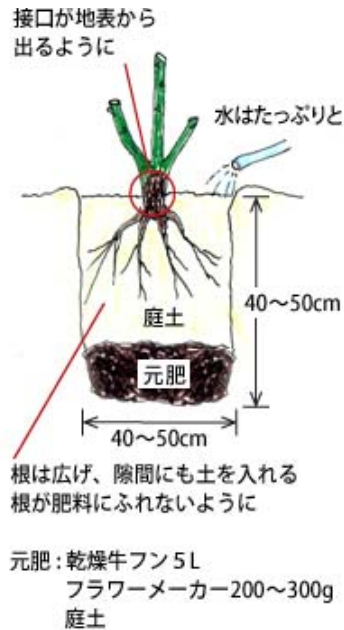
1. 鉢底にゴロ土を入れる。
2. 土を入れ、苗を置いた時に接木部分が鉢の高さの4/5程度の位置に来るように調節する。残りの1/5は水やり時のウォータースペース(水がたまる場所)として確保する。
3. 苗をポットから出し、土(根土)を崩さないように設置する。
4. 接木部分が地表から出るように土を入れる。
5. 水はたっぷり、下穴から水が流れ出すまで、充分行う。(2～3回繰り返す)
6. 接木部分がはがれないように支柱を立てる。

●ポイント

- ・ 肥料は入れないでください。
- ・ 台木や根鉢を持ち作業をしてください。枝を台木に接いだけではがれやすいので、枝を持って作業をしないでください。
- ・ 接木部分に巻いてある保護テープは、秋まで取らないでください。
- ・ つるバラは植替えが大変なため、最初から大きな鉢へ植える事をおすすめします。

●新苗植付け後の管理

- ・ 乾きで新梢がしおれないように注意して、適時水をやってください。
- ・ 8月末まで、蕾を小さなうちに摘むと早く株を育てられます。
- ・ 苗木が小さいので、特に病害虫に注意し、落葉のないよう注意してください。
(薬散など対策を行う)



用意するもの

乾燥牛フン 5 L

フラワーメーカー (バラ用肥料) 200g~300g

1. 直径40~50cm、深さ40~50cmの穴を掘り、穴底に乾燥牛フン及び、フラワーメーカーを入れる。
2. 掘り上げた土を少し戻し、穴底の土を耕すように乾燥牛フン、フラワーメーカーと良く混ぜる。(元肥になります。)
3. 残りの土を戻し、苗を置いた時に接木部分が地表から出る高さに調節する。
4. 根を広げ、肥料に直接根が触れないように設置する。
5. 庭土を戻し、苗を固定する。土は地表ぎりぎりまで戻さず、水がたまるスペースを残しておく。
6. 根の間に土を流し込むように水をやり、隙間に土を入れる。水はたっぷりとやる。
7. 水が引いたら、土を平らにする。

● ポイント

- 根が乾いているようであれば、水に1~2時間浸してください。
- 穴に入れる乾燥牛フンは、堆肥でも代用できます。バラ栽培に向く土を作るための大切な作業です。
- 接木部分にテープが巻いてある場合は、取り除いてください。
- 根に直接肥料が触れないように注意してください。

大苗鉢植え

関東地方基準



用土（バランツ培養土又は、小鉢の小鉢培養土用土）

ゴロ土（赤玉土の大粒など）

1. 鉢底にゴロ土を入れる。
2. 土を入れ、苗を置いた時に接木部分が鉢の高さの4／5程度の位置に来るように調節する。
残りの1/5は水やり時のウォータースペースとして確保する。
3. 根を広げ、設置し、接木部分が地表から出るように土を入れる。
4. 根の間に土を流し込むように水をやり、隙間に土を入れる。
5. 水はたっぷりと、下穴から水が流れ出すまで、充分行う。（2～3回繰り返す）

● ポイント

- 肥料は入れないでください。
- 接木部分にテープが巻いてある場合は、取り除いてください。
- つるバラは植替えが大変なため、最初から大きな鉢へ植える事をおすすめします。

▶ バラの育て方（トップ）

▶ 初めて育てる方へ

▶ バラの選び方

▶ 年間の管理

▶ 月ごとの管理

▶ 基本的な育て方

ネット通販

バラ園・ガーデンセンター

販売店ナビ

会社概要

English

ニュースリリース

アクセスマップ

バラの育て方

販売店様サポート

個人情報保護方針

お問い合わせ

リンク